

交流・連携基盤

あるべき姿(概ね30年後)

- 国内外の人・モノが、県内の空港・駅・港湾や幹線道路等から円滑かつ安全に出入りし、多様な交通・物流ネットワークによって県内を迅速かつ円滑に移動しています。

目指す姿(5年後)

ビジネスや観光、日常生活において県内外を移動する人が、快適かつ適切なコストで利用できる交通基盤やMaaS等の多様な交通ネットワークから、それぞれの目的に応じた最適な手段を組み合わせて、便利で快適に移動しています。

国内外から本県を訪れる人が、クルーズ客船で安全かつ快適に寄港し、地域の魅力に触れることで高い満足度が得られています。

県内及び周辺地域の立地企業とその相手先企業が、陸送、海運、空輸といった多様な輸送モードを利用することにより、それぞれの企業の希望に応じた、競争力強化に資する持続可能で最適な物流ネットワークが構築されています。

用語解説

輸送モード…貨物を輸送する際の、トラック、船舶、鉄道、航空などの輸送手段。

指 標

広島空港利用者数

ビジョン策定時点 (R2)の現状値	現状値	5年後の目標値 (R12)
297万人 (R1)	287万人 (R6)	494万人

目標設定の考え方

広島空港の利用者数増が、ビジネスや観光等で県内外を移動する人が便利で快適に移動できていることを表すと考え、広島国際空港(HIAP)と連携し、航空路線の往来実績データ等を踏まえた需要予測に基づいて目標を設定した。

年間渋滞損失時間

ビジョン策定時点 (R2)の現状値	現状値	5年後の目標値 (R12)
4,500万時間 (R1)	4,180万時間 (R6)	3,000万時間

目標設定の考え方

日常生活や経済活動において、利用頻度が最も高い移動手段である自動車交通の定時性や速達性を確保することが、利便性の向上や物流の効率化につながることから、主要渋滞箇所等における対策の取組状況を踏まえて目標を設定した。

クルーズ客船観光客による 推計消費額

ビジョン策定時点 (R2)の現状値	現状値	5年後の目標値 (R12)
—	488百万円 (R6)	846百万円

目標設定の考え方

クルーズ客船観光客による観光消費額が、寄港時に地域の魅力に触れ、高い満足度を得たことを表す指標と捉え、R5～R6に実施したクルーズ客船乗客行動調査の結果を基に、世界のクルーズ旅客需要予測を踏まえて目標を設定した。

輸配送のために必要な人材を 確保できている県内 トラック運送事業者の割合

ビジョン策定時点 (R2)の現状値	現状値	5年後の目標値 (R12)
—	36.3% (R7)	41.0%

目標設定の考え方

持続可能で最適な物流ネットワークの構築に当たっては、輸送力の確保が不可欠であるが、輸送力の大部分を担うトラック運送事業者における人手不足が喫緊の課題となっており、今後、ドライバーの担い手不足が懸念される中でも、県内事業者の人材の充足状況を現状値よりも改善させることを目指して設定した。

県内港における コンテナ取扱量

ビジョン策定時点 (R2)の現状値	現状値	5年後の目標値 (R12)
36万TEU (R1)	35万TEU (R6)	48万TEU

目標設定の考え方

港湾物流における輸送量の増加やそれに伴う航路拡充によって、荷主ニーズに応じた最適な物流ネットワークの構築が達成されることから、輸送量に関する指標として、県内港の港湾計画の策定時に推計したR12年の貨物取扱量を目標として設定した。

TEU…Twenty-foot Equivalent Unit の略。コンテナ取扱個数の単位で、20フィートコンテナ1個を1TEUとして換算。

目指す姿の実現に当たって考慮すべき課題

- 広島空港が中四国地方の拠点空港として今後も継続的に発展し、利用者の多様なニーズに対応するため、広島空港の利便性強化や利用促進、空港アクセスの一層の強化を図る必要があります。
- 都市部を中心に慢性的な交通渋滞が発生し、速達性・定時性の確保が十分でないことから、円滑かつ迅速な人流・物流を実現する道路ネットワークを構築する必要があります。また、県内では、産業用地への企業立地や、新たな産業団地の造成が進んでおり、これらの物流拠点や井桁状の高速道路ネットワークへのアクセスを強化する必要があります。
- 寄港したクルーズ旅客が高い満足度を得られるよう、多様なニーズに沿った観光プロダクトを船会社等に提供するとともに、スムーズに寄港するための受入環境の向上を図る必要があります。
- トラックドライバーや港湾関連事業に従事する人材などの人手不足が懸念される中でも、物流の停滞が生じないための必要な輸送力の確保や、荷主のニーズに対応した港湾物流における国内外につながる海上輸送ネットワークの構築など、物流サービスの最適化を進める必要があります。

目指す姿の実現に向けた取組の方向

① 世界とつながる空港機能の強化

中四国における国内外のビジネス・観光等の交流の出入口であるグローバルゲートウェイとして、航空便利用者の多様なニーズに対応するため、新たな路線誘致や交通手段の拡充により、世界・各都市とつながる航空ネットワークの拡充と空港アクセスの利便性向上など広島空港の機能強化を図るとともに、関係者と連携した需要創出に取り組めます。

② 人・モノの流れを支える道路ネットワークの構築

定時性や速達性の確保による企業等の生産性の向上及び、交流・連携機能や交通拠点へのアクセス性の強化に資する道路整備等を推進します。

③ クルーズ客船の寄港環境の整備

クルーズ旅客の多様なニーズを把握し、ラグジュアリー・プレミアムクラスをはじめとした客船にふさわしい寄港環境の整備に取り組めます。

④ 産業活動の基盤となる物流ネットワークの構築

物流停滞が生じないよう、必要な輸送力を確保するため、県内トラック運送事業者の輸配送の効率化や労働条件の改善に向け、DXの推進などの支援に取り組めます。

また、県内港が東南アジアを含めた世界各港との最適な航路ネットワークを提供し、瀬戸内における国内外の物流拠点としての役割を担うため、コンテナターミナルにおける大水深岸壁の整備や効率的な運営体制の構築のほか、荷役機械の自動化・遠隔操作化といったDXの推進を行うとともに、新規航路誘致に取り組めます。

用語解説

グローバルゲートウェイ…世界各国と多方面、多頻度の航空路線・航路で結ばれた国際競争力の高い拠点となる空港・港湾。
大水深岸壁…東南アジア航路等に投入されるコンテナ船に対応した水深を有する岸壁(通常は水深12mより深い)。

重点項目に関する主な取組

- 県経済を支える産業の振興・発展や生産性の向上といった強固な社会経済基盤の確立に向け、国内外と県内の人・モノの交流・連携を推進する、陸・海・空の多様な交通・物流ネットワークの整備や最適化に取り組みます。特に、県内トラック運送事業者の輸配送の効率化や労働条件の改善に向け、DXの推進の支援などを進めます。